

くすりと健康のはなし

薬包紙

第17回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
理事 丹羽智子



「薬」は使い方を間違えると、体に良くない症状が起きます。こんな経験ありませんか？

①「目薬」

一度に何滴もさして目薬1本を1日、2日で使い切っていませんか？

目薬は1回1〜2滴、目の中に入れて充分効果が出ます。薬があふれて目の周りに付くと肌荒れの原因になります。すぐにふき取ってください。

②「はり薬」

痛みが取れないからと二度に何枚も、1日以上貼り続けていませんか？

同じ場所に貼り続けると肌荒れが起きやすくなります。少しずつ位置を換えてください。

③「かぜ薬」

薬局・薬店などで買ったかぜ薬を1ヵ月近く飲み続けたこと、ありませんか？

早く治すにはバランスの良い食事と充分な睡眠・体を冷やさないと、生活を整えることが必要です。薬に頼って長く飲み続けると、胃痛・便秘などが起きやすくなります。

④「咳止め薬」

何年も「咳や痰が続く」と薬を買って続けていませんか？

咳止め薬は一時的に症状を抑えるだけで病気を治してはいません。便秘になりやすくなりますし、咳や痰が出る原因が何かを調べて、治療しないと病気が

薬の正しい使い方手伝います

を悪化させる危険があります。

いかがでしょう。心当たりありませんか？薬局・薬店等で購入できる薬で経験する例を挙げてみました。が、医院・病院からの処方箋薬については更に注意が必要です。薬局で、症状について細かく聞く事があるのは薬を正しく使用していただくために行っているからです。煩わしいと怒らないでくださいね。

さて私たち薬剤師の仕事について皆さんに理解いただくとうと毎年「薬と健康のつどい」を開催しています。今年中は濃地区関市にて咳や痰などが症状の「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」をメインテーマに行うことになりました。皆様のご来場をお待ちしています。

参加費無料

薬剤師によるお薬相談会 第13回

薬と健康のつどい2013

日時:平成25年10月6日 午後0時00分〜午後4時00分

場所:わかくさ・プラザ 学習情報館 (関中央公民館)

講演会

健康フェア

1 お薬の正しい使い方、お手伝いします

関薬剤師会会長 丹羽 智子

お薬相談コーナー

健康測定コーナー

2 慢性閉塞性肺疾患(COPD)ってな〜に？

岐阜県 COPD 対策協議会委員、関中央病院 院長
齋藤 雅也 先生

健康茶コーナー

COPD・禁煙サポート

プレゼントコーナー

ご来場の方に、「香りの袋」または「マスク」プレゼント！

問合せ先:岐阜県薬剤師会事務局 TEL058-260-8800